

月刊

河井克行



復興、
そして光あふれる明日へ。



平成 27 年

7
月号

国による可部・高松山国有林緊急治山事業の現場に立つ河井克行代議士（6月8日）。人家が密集する三入南二丁目は最優先で着工。土留工が完成しました

『ミサイル防衛に関する日米国会議員合同作業部会』 結成

～北朝鮮や中国のミサイルへの懸念を共有～

この度、『ミサイル防衛に関する日米国会議員合同作業部会』が河井克行代議士とマイク・ロジャース下院軍事委員会戦略軍小委員長（共和党・アラバマ州）の声掛けにより結成されました。初会合は4月30日、米国連邦議事堂において開催。米国側からは、ロジャース小委員長をはじめ共和党二名、民主党一名の下院議員が出席。日本側からは、『日米同盟コーカス』に所属する長島昭久・民主党元内閣総理大臣補佐官、松野頼久・維新の党幹事長（当時）、河井克行代議士が出席しました。二回目は5月26日、国会議事堂で開催。米国側は、ロジャース小委員長をはじめ共和党七名、民主党二名の下院議員。日本側は自民党から二名、民主党から二名、維新の党と無所属クラブからも出席。会合での成果は、北朝鮮や中国が保有するミサイルの脅威に対し、日米が連携を強化する必要性で認識が一致したこと。また、米軍の終末高高度防衛ミサイル（THAAD）の韓国への配備やオーストラリアのミサイル防衛についても議論がなされました。二つの同盟国の国会議員が超党派で安全保障の具体的な政策課題を継続して議論することは稀で貴重な機会です。



衆議院常任委員長室にて第二回会合



北朝鮮の弾道ミサイル発射などに備え 自衛隊の役割拡大など協議へ

ワシントンDCで開かれた第一回会合を報じる5月1日『NHKニュース』

河井克行氏「脅威は中国ミサイル」

ミサイル防衛に関する日米合同の議員連盟が発足して活動を続けている。具体的な政策で日米両国の議員が作業部会を持つのは前例がない。

発端は、米下院軍事委員会のマイク・ロジャース戦略軍小委員長から自民党の河井克行衆院議員（元衆院外務委員長）に届いた2月11日の書簡。こうあった。

「日米両国の防衛協力を一層強くなるために、一緒に取り組むたい。わが米国の下院軍事委と安全保障に精通している日本の議員による、ミサイル防衛に関する合同

作業部会の設立を提案したい」

河井氏とロジャース氏は旧知の仲である。3月24日、2人はワシントンで会い「ぜひ一緒にやりましょう」と握手した。日本側のメンバーは、河井氏を中心とした超党派の議員連盟「日米同盟コーカス」を活用。河井氏以下、左藤章、城

内美（自民党）、松本剛明、長島昭久、筈浩史（民主党）、松野頼久、小態慎司（維新の党）、水野賢一、中西健治（無所属）の各氏である。

日米合同部会の第1回は、安倍



晋三首相の訪米に合わせて4月30日に米議会の会議室で。このとき日本側は河井氏と長島氏、松野氏が出席した。

第2回は5月26日に日本の衆院内の常任委員長室で。米側は共和

党7人、民主党2人の計9議員。日本側は6人が対応した。

ロジャース氏が小委員長を務める「戦略軍」とは、核とミサイルについて扱う小委員会である。両国議員の共通の関心はミサイル防

衛で、米議員たちは、青森と京都に配備された弾道ミサイル探知用移動式早期警戒レーダー「Xバンドレーダー」を視察した。第2回会合の冒頭、河井氏があいさつした。

「技術と政治の両面で、時代の最先端に位置づけられるのがミサイル防衛だ。最新の安全保障情勢を踏まえ、日米の政治家が齟齬（そご）のない方向性を共有したい」

河井氏は今月3日、語った。「北朝鮮のミサイルへの備えも重要だが、より深刻なのは中国の

弾道ミサイルと巡航ミサイルの脅威だ」

防衛省の資料によると、中国は中距離弾道ミサイルを100発以上、射程1500キロ以上の巡航ミサイルを500発保有している。核弾頭を搭載可能だ。米メディアによると、マッハ10の超音速攻撃兵器の配備も計画している、という。河井氏が言った。

「この防衛は日本だけではできない。ミサイル防衛で日米関係を深化させる。集団的自衛権の真の狙いはここにある」（政治評論家）

日米合同議連を立ち上げる

フィリピン共和国出張

6月13日（土）～15日（月）、河井克行代議士はフィリピンを訪れ、日比関係全般と南シナ海（フィリピンでは西フィリピン海と呼称）における中国の拡張主義などにつき率直な意見交換を行いました。会談したすべての相手から、日本の国会で審議中の平和安全法制の早期成立への期待が示されました。



ベニグノ・アキノ三世大統領の懐刀であるホセ・アルメンダラス大統領府長官とマラカニアン宮殿で一時間にわたり会談



第一次アロヨ政権で国家安全保障会議議長（NSC）と安全保障担当大統領補佐官を務めたロイロ・ゴレス元下院議員



フィリピンのアジア国際政治研究の第一人者であるウィルフリド・ヴィヤコルタ元駐ASEAN大使と

第3次台湾出張

7月3日（金）～5日（日）、河井克行代議士は台湾を訪れました。来年一月総統選挙（大統領選挙に相当）に最大野党・民進党から立候補する予定の蔡英文主席と呉釗燮秘書長と再会。選挙結果は日本の外交・安全保障政策に大きな影響を与えます。国立政治大学国際関係研究中心での講演や経済人たちとの会談を通じて、あらためて日本と台湾の結び付きの強さを河井克行代議士は実感しました。



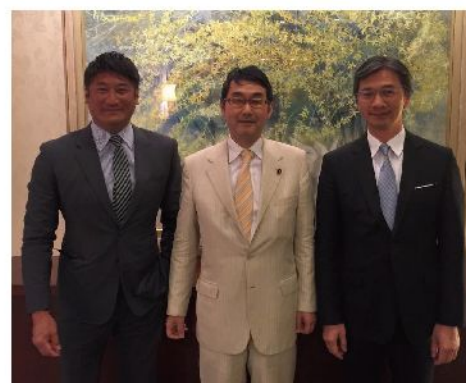
成功を収めた5月の訪米で日本重視を明言した蔡英文主席と国際通の呉釗燮秘書長



英語で『戦後70年と日米同盟』を講演。丁樹範教授をはじめ台湾を代表する外交・安全保障の専門家六名と大変有意義な意見交換を行いました



東京スター銀行取締役会長・江丙坤さん。海峡交流基金会董事長などを歴任、大陸と太いつながりをお持ちです



台湾を代表する若手経営者、辜仲諒・中国信託慈善基金会董事長（向かって左）と黄教漳・台隆工業董事長と会食

「ゆめづくりフォーラム in TOKYO」 今年も盛大に開催

河井克行代議士の政治活動を支援するための東京フォーラムが6月17日（水）、千代田区麹町会館で行われました。17回目の今回も、講師の菅義偉・内閣官房長官をはじめ多くの発起人・来賓から激励のお言葉を賜りました。

- 1 菅義偉内閣官房長官は、安倍政権がめざす日本の姿を力強く明快に講演。併せて、河井克行代議士への厚い信頼が語られました。
- 2 発起人代表の挨拶は鳩山邦夫・元総務大臣
- 3 塩崎恭久厚生労働大臣が祝辞
- 4 安倍総理大臣のブレインとして知られる葛西敬之・J R東海代表取締役名誉会長は、日米同盟深化に果たす河井克行代議士の役割りを述べられました



1



2



3



4

議員連盟の活動



1



2



3



4

- 1 菅義偉内閣官房長官に「法曹養成と法曹人口を考える国会議員の会」幹事長として、鳩山邦夫会長、橋本岳事務局長と一緒に申し入れ。法科大学院に行けるお金と時間がある人のみが司法試験を原則受験できる現行制度は問題だと認識が一致（6月16日）
- 2 「街の酒屋さんを守る国会議員の会」幹事長として、「消費者の健康と公正な販売環境をつくる」議員立法案を党総務会で説明し、了承を得る（4月24日）
- 3 河井克行代議士が副会長を務める「党学童保育（放課後児童クラブ）推進議員連盟」の総会。予算の大幅増額に取り組みます（5月27日）
- 4 河井克行代議士は「明日の私学を考える会」幹事長を務めます。全国珠算教育団体連合会の代表者らから、小学校での珠算教育を二年生から四年生までに拡充することなどの要望を受けました。アジア諸国の子どもとの激しい競争に日本が負けないよう、次期学習指導要領改定をにらみ、文部科学省への働き掛けを強めます（6月16日）

派閥を越えた議員集団 「きさらぎ会」 薔薇を観る会

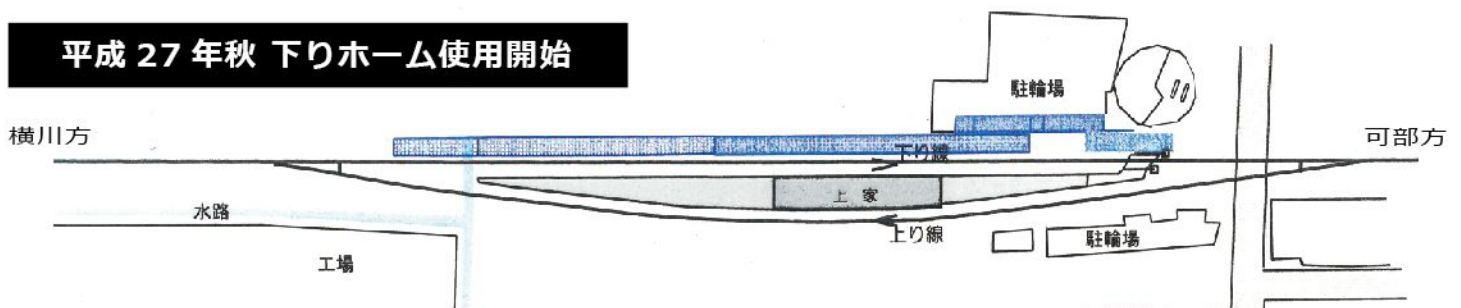
6月25日(木)夜、東京・音羽の鳩山会館において、「きさらぎ会」(会長:鳩山邦夫・元総務大臣、会員数:123名)恒例の薔薇を見る会を開催。議員本人や関係者ら約100名が集まりました。幹事長を務める河井克行代議士が進行を担当。「きさらぎ会」は、強くて豊かな日本をつくる安倍晋三総理大臣と菅義偉官房長官を支える中核政治集団として研鑽を積んでまいります。



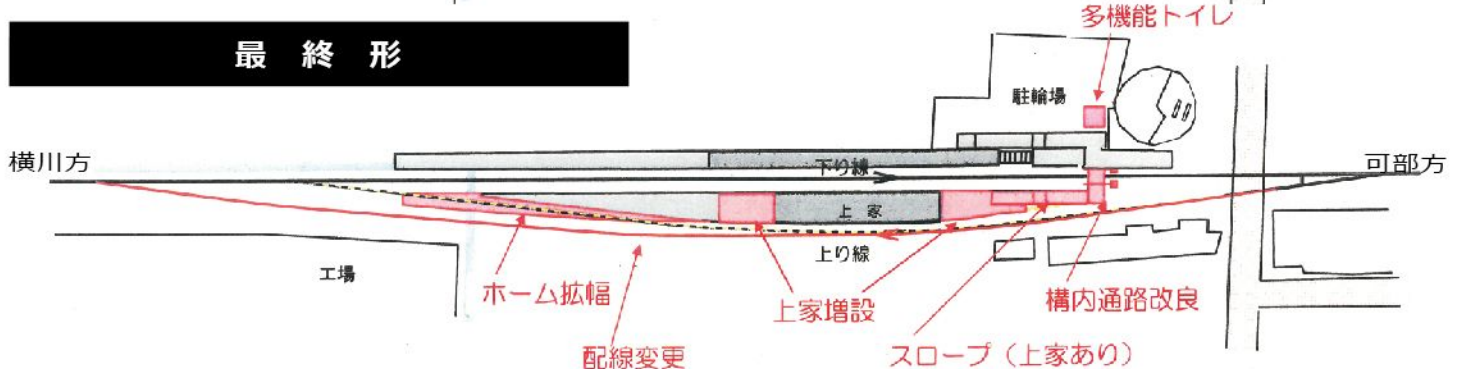
J R可部線安芸長束駅第二期工事着手

今年秋に完成予定の下り線専用プラットホームに加え、上り線のプラットホーム拡幅・延伸や上家増設、構内通路・スロープの改良、多機能手洗いの新設などを7月から着工。完成は来年度中です。河井克行代議士は、可部線・芸備線の安全確保と利便性の改善に向け、国土交通省やJ R西日本への働きかけをこれからも行います。

平成 27 年秋 下りホーム使用開始



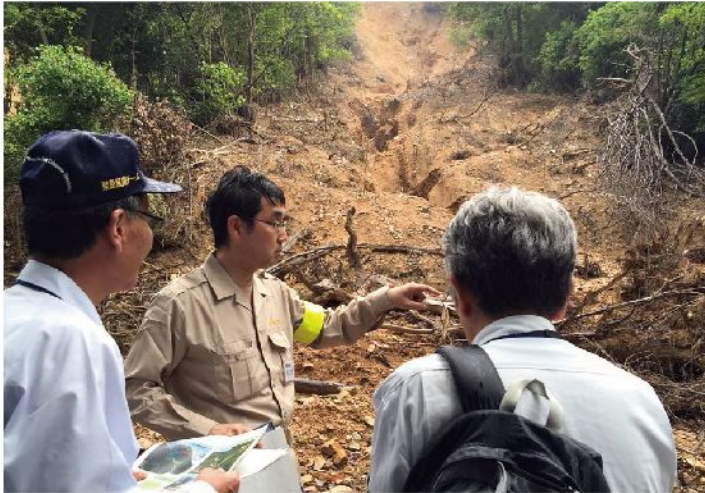
最終形



「8. 20. 集中豪雨災害」復旧事業視察

～高松山国有林治山事業、祇園山本地区砂防事業～

6月8日（月）、河井克行代議士は林野庁・近畿中国森林管理局・広島森林管理署の案内で、可部・高松山国有林緊急治山事業の現場を視察。来年三月十日までに六ヶ所すべてが完成予定です。さらに今年度予算が配分された五ヶ所で新たに治山事業が着手されます。雨が降る中、被災地自治会のみなさんに出ていただき、貴重なご意見をたくさん賜りました。一日も早い復旧・復興をめざし、これからも河井克行代議士は全力を挙げます。



新建・台地区と桐原地区を結ぶ峠越え道沿い



同じ日に、国土交通省の案内で、安佐南区山本六丁目緊急直轄砂防堰堤建設予定地も視察。同地区にはさらに数基の砂防堰堤が新設される見込みです。

「6. 29. 広島豪雨災害」から16年

16年前の平成11年6月2日集中豪雨が襲い、県内で32名の犠牲者を出しました。住宅地で土石流が突然発生した都市型土砂災害であり、当時当選一回の河井克行代議士が党プロジェクト・チーム事務局長として『土砂災害防止法』の草案を作るきっかけとなった災害でした。「6. 29.」は「8. 20.」の原点。土砂災害から見事に立ち直った復旧・復興の先進モデル地区です。安全で強靱な国土づくりを地域の皆さまとともに推し進めることを河井克行代議士は固く誓いました。



瀬戸内ハイツ自治会が建てたお地藏さんの前で営まれた十七回忌法要・慰霊祭。河井克行代議士は毎年参列しています（6月28日）



勝木自治会避難訓練を激励（6月28日）

みなさまとのふれあいが 河井克行代議士の力になります



安東公民館まつり（6月7日）



東野学区町民運動会（6月7日）



武田山町内会運動会（6月7日）



小河内泥おとし祭り（6月7日）



河井克行代議士も会員である「安芸高田市ふるさと応援の会」総会（6月20日）



北広島町消防団水防工法訓練を激励（6月21日）



戸河内地域商工会青年部関係者と恒例の懇親会。山間地域に住む若者の率直な意見に河井克行代議士はじっくりと耳を傾けました（6月20日）



広島県看護連盟総会にて、日夜を分かたず医療現場で奮闘する看護師のみなさまを激励（6月27日）



改選後の新しい永田雅紀・広島市議会議長（向かって右）と沖宗正明副議長が議員会館に來訪（6月5日）

誕生！河井克行後援会「三矢会」^{みつやかい}連合会

～後援組織の名称が生まれ変わりました～

今年、河井克行代議士が政治活動を開始して25年の節目。そこで後援組織の名称を、“河井克行後援会「三矢会」^{みつやかい}連合会”へと改めることが、6月12日（金）、安佐南区民文化センターで行われた「河井克行を育てる会連合会合同役員・世話人会」において満場一致で承認され、これを機に新たな組織づくりを進めていくことになりました。毛利元就公三本の矢の訓に因み、地域住民・後援会会員・河井克行代議士の三者が郷土とこの国の未来のために力を合わせる願いが込められています。

河井克行後援会「三矢会」連合会
河井 克行

揮毫は、祇園地域河井克行後援会「三矢会」祇園支部顧問の木戸良一様です

びんご 企業団体後援会備後支部が発足

6月26日（金）福山市内において、河井克行企業団体後援会備後支部が発足し、秋田善祺・株式会社アキタ代表取締役社長が会長に就任しました。中小企業経営者の声を国政に届けるため、河井克行代議士は力を尽くします。



ミニ・エッセイ『ある日の永田町』 第2回・氷川神社

早朝、近くの氷川神社まで散歩しました。赤坂の繁華街から道路一本入るだけで静寂に包まれます。小雨が降り始めました。急ぎ足で議員宿舎に戻ります。



自由民主党広島県第三選挙区支部 衆議院議員 河井克行事務所

国会事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 1208 号室
TEL: 03-3581-5111(内線 71208) 03-3508-7518(直通) FAX: 03-3508-3948

広島事務所 〒731-0153 広島市安佐南区安東 2-1-22
TEL: 082-832-7301 FAX: 082-878-3301

公式HP <http://www.kawaikatsuyuki.com>

河井克行

検索